

No.11 2020.3.3

寒さの中にも暖かい日差しが少しずつ感じられるようになりました。待ちにまった雪が少し積もり、園庭の雪を窓越しに眺め「ゆき〜！」と嬉しそうな声をあげていました。雪を部屋に持って入り、触って冷たい感触を肌で感じ喜んでいました。

今年度もいよいよ1か月になりました。子どもたちの成長を感じながら、毎日を大切に、元気に楽しく過ごしていきたいと思います。



いすぐみ



月齢の小さい子は、1人で立つことが出来るようになり、気になる玩具を持ちながら立って喜んでいます。月齢の大きい子は、本棚からお気に入りの絵本を取り出して、嬉しそうにページをめくったり、保育者の膝に座り読んでもらったりして喜んでいます。気に入った絵本は真剣なまなざしでじっと見て、保育者の真似をしながら繰り返し言葉を発して楽しんでいます。

うさぎぐみ

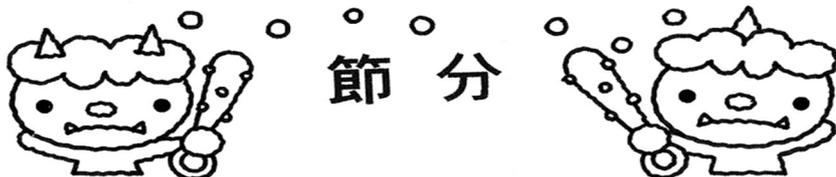


ままごとが好きなうさぎぐみさん。ごちそう作りをしてお皿やボウルに入れて、友だちや保育者に「どうぞ！」と渡してくれます。また、バッグの中にごちそうやお気に入りの絵本など入れてさげると、「バイバイ、タッチ〜！」と保育者にタッチをし、友だちと部屋を歩いてお買い物のごっこも楽しんでいます。

こぐまぐみ



ブロックでお城などをイメージしながら大きなものを作ったり、ハンバーガーやアイスを作り、お店屋さんごっこをしたりして楽しんでいます。救急車や消防車を作り、「ピーポーピーポー」「火事だ〜」「シャー」と言って水をかけるなど、見立て遊びも盛んに友だちとやり取りをしています。言葉の数が増えて、会話のやり取りがとても上手になり、本当に3歳！？と思うことがあり話をする姿を微笑ましくも頼もしくも感じます。



2月3日は、節分お楽しみ会に参加しました。自分たちで作った三角帽子の鬼をかぶり、♪鬼のパンツ や ♪まめまきの手遊びや手作りの紙芝居を興味津々で見えて喜んでいました。その後で、壁面に赤鬼や青鬼、緑鬼を貼ると、鬼に立ち向かって、豆に見立てた新聞紙ボールを「おには〜そと〜」と大きな声で投げて鬼退治をし、頼もしい子どもたちでした。びっくりして保育者のそばへ来る子もいましたが、保育者と一緒に新聞紙ボールを投げて、全員で豆まきごっこを楽しみました。自分の中にある悪い鬼は逃げ、福がたくさん訪れてくれるでしょう！！



<3月の活動>

天候のいい日は戸外や散歩に出かけ、春の訪れを感じながら、体をいっぱい動かして楽しみたいと思います。

